

おはようございます。校長の関田です。2学期の最初にあたり、2つの話をします。

1つ目は、1学期の終業式で皆さんにお話ししたことの確認です。

1年生の皆さんは学校にも慣れたことでしょうか、そろそろ本気で勉強に取り組んでください。少人数学習のメリットを活かして、自分自身その効果を実感できるように、がんばってください。1・2年生は明日テストです。今週末には文化祭がありますが、それが終わったら気持ちを切り替えて、時間をかけて勉強しましょう。3年生は、今さら私から言うことではないですね。既にAO入試などでは面接も始まっていますが、今から6ヵ月の間しっかりがんばって、自分自身の未来を切り拓いていきましょう。

オーストラリアとニュージーランドの海外研修に参加した皆さん、心と記憶に残るような素敵な体験ができましたか？ニュージーランドの皆さんの様子は、私も旅行がてら見て来ましたが、オーストラリアの研修も、帰国をソニックに迎えに行った際、良かったと聞きました。この後の研修報告で聞かせてください。

英語部の皆さんが運営を支えてくれた英語・日本語スピーチコンテストの埼玉県代表の2人は、英語部門、日本語部門とも8月の全国大会で1位に当たる外務大臣賞を受賞しました。今回は西高生の活躍ではありませんが、全国の栄冠は、皆さんが抱いているイメージほど遠くにあるわけではないのかも知れないと実感させて貰いました。

2つの秋の地域のイベント、防災訓練とさいたま国際マラソンのボランティア募集については、いくつかの部活動を中心に、防災訓練に130人くらい、マラソンに50人くらいの皆さんが、それぞれ協力してくれることになりました。どうもありがとうございます。当日の働きに期待します。もし今からでも参加してみようと思う人は、ぜひ担任の先生に相談してください。あなたがた一人一人の前向きな姿勢、取組のすべてを、西高の誇りとして伝えたい。Pride of the West、期待しています。

食堂の営業については、この後、担当の赤井先生から現状をお話ししていただきます。

2つ目は、今週末の文化祭についてです。

私は、自分が高校生だった時も、高校の先生になってからも、文化祭が大好きでした。だから、中学でも高校でも、文化祭のクラス企画では、いつも実行委員をやっていました。もちろん今でも好きですし、初めて経験する西高の文化祭を、とても楽しみにしています。そこで、文化祭の達人として、皆さんに一つだけアドバイスをしましょう。

それは、「思いっきり楽しむ」こと、、、ではありません。いや、楽しむことは大切だし、自分自身が楽しむことで、文化祭全体が素晴らしいものになり、満足度も高くなることは、言うまでもありません。言うまでもないのだから、アドバイスにはなりません。

ではアドバイスとは何か。それは、「ホスピタリティ」ということ。「思いやり」「おもてなし」という意味です。サービス業や医療現場などでよく使われる言葉です。似た言葉に「マナー」がありますが、「マナー」は相手に不快感を与えないための形や行動など最低限のルールです。そこに「心」が加わると「ホスピタリティ」になります。それは、相手に深い心地良さを与えること、相手に信頼、安心、感動を与えることです。

文化祭を例にお話しします。金曜日は校内公開です。仲間内、身内のためのお祭りです。お互いにルールとマナーさえ守っていれば、周囲の人に不快な思いを抱いたり、抱かせることはないでしょう。そこでは皆さん自身が主催者でもあり、お客様でもあるのです。思う存分、自分たちだけで盛り上がり、楽しみましょう。

土曜日は一般公開です。西高の文化祭を楽しみにいらっしゃるお客様が大勢います。皆さんの友達や親御さん、後輩になりたいと欲している中学生、近隣にお住まいの方や子どもたち。これらの方々に十分満足して帰っていただくこと。それこそが文化祭一般公開の醍醐味です。そこでは、皆さんはゲストではなくホストです。接客の姿勢が必ず求められます。お客様を温かく迎える気持ち、校内の道案内、アクシデントへの対処などなど、主催者として必要なことはたくさんあります。そういう意味では、一般公開の対象になっているのは、企画や展示、発表だけではなく、実は皆さん自身でもあるのです。

ディズニーランドを想像してみてください。人気アトラクションに、客と一緒に大勢のスタッフが自分たち自身が楽しむために並んでいる光景を。レストランで我が物顔に飲み、食い、騒ぐスタッフたちを。ゴミを拾い集めるどころか、平気でまき散らすスタッフを。あり得ないでしょう。

皆さんは、「そんなこと、言われなくても分かってるよ。」と思うかも知れません。でも、これまで30年間、高校に関わる仕事をしてきて分かったことは、それが実践できる高校生は決して多くはないという事実です。でも、西高生は違うというところを見せて貰いたい。皆さんなら、ひょっとしたらできるかも知れない。なぜなら、皆さんの胸には、「西高の誇り」が芽生えているからです。

9月5日土曜日、皆さんがすべきことは、お化け屋敷の前に並ぶことでも、体育館ステージの最前列を陣取ることでもないはずですが。困っている人を見たら進んで助ける、道を尋ねられたら教えるだけではなく御案内する。一日に何度も何度も「何かお困りのことはありますか?」「お手伝いできることはありますか?」とお客様に声を掛けるのですよ。何のために校内公開日と一般公開日があるのか、原点に立ち返って思いを深めてください。

文化祭を主催するスタッフの一員に徹して、ゲストの満足感を高めるために、見たかった発表も見られず、食べたかったものも食べられず、気がついたら一日が終わっていた、その時のスタッフの満足感と自尊心とを是非味わってみてください。西高が誇る「学校行事がハンパない」ということの本質を、自分自身で実践して、体感してください。次元の違い、格別の満足感が得られることを約束します。

以上で私の話を終わります。今学期もまた、皆さんのすべての活動を楽しみにしています。Pride of the West、西高の誇りを伝えよう。